



関空立国デスティネーション化推進事業

①抱えていた課題

コロナ禍以前は泉佐野市内延宿泊者数は年間100万人以上を記録していましたが、それでも有名観光都市の平均宿泊数と比較するとかなり低いのが現状あった。要因の一つとして、エンターテインメントや食分野において、メインターゲットとして想定している東アジアのプレミアムマスメ層等に興味をそそるコンテンツの提供や多言語化、キャッシュレス化等が課題であった。

②課題に対する取組み

近隣自治体と広域連携し、新たなレコメンドサービスプラットフォームを組み合わせ、磨き上げたエリアへの訪問に繋げ、関空の地の利を活かしたハード・ソフト事業を上手く展開し、これまでにない新しいICTの仕掛けとして、タビマエ・タビナカでの泉佐野市や和歌山市、紀の川市のインバウンド等の嗜好に合わせた情報をプッシュ型にてレコメンドすることで、目的地として選定してもらい、地域での消費喚起による経済循環を作り上げる。インバウンドやビジネスパーソンの目的地として、ローカル資源を最大限活用したナイトタイムエコノミーやマルシェ等の果敢な取組みにより、立ち寄りして頂く仕組みについて交付金事業を活用して、段階的に地道に構築していくために以下の事業を実施する。



③目指している将来像

観光立国に恥じない観光を切り口とした、ローカル版国際都市をめざす。

観光立国

近隣自治体との
広域連携

文化や食を
テーマに地域
産業の発展

人口減少の
抑制

広域エリア
での地域資源
を活かす

魅力ある仕
事の創出

若者の雇用
に繋げる

④企業様に向けたメッセージ

外国人観光客に占めるリピーターの比率が高まる中で和歌山市を含む関空以南のエリアへの送客がさらなる関西の魅力創出と関空ゲートシティとしての泉佐野市の魅力強化にご協力下さい。